

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【公開番号】特開2014-195451(P2014-195451A)

【公開日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-057

【出願番号】特願2014-45598(P2014-45598)

【国際特許分類】

A 0 1 C 1/00 (2006.01)

A 0 1 N 63/00 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 G 7/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/14 (2006.01)

C 1 2 N 1/20 (2006.01)

【F I】

A 0 1 C 1/00 Z

A 0 1 N 63/00 F

A 0 1 P 3/00

A 0 1 G 7/00 6 0 4 Z

C 1 2 N 1/00 P

C 1 2 N 1/14 A

C 1 2 N 1/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月28日(2017.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

種子伝染性病原菌に対応する非病原性菌を開花期前後の宿主植物の花部に接触させる工程、

前記工程後に得られる前記非病原性菌が定着した宿主植物の種子を回収する工程を含む、育苗期病害耐病性植物の種子製造方法。

【請求項2】

前記宿主植物がイネ科植物である、請求項1に記載の製造方法。

【請求項3】

前記イネ科植物がイネである、請求項2に記載の製造方法。

【請求項4】

前記非病原性菌がFusarium属菌、Nectria属菌、Gibberella属菌、Calonectria属菌、Hyphomyces属菌、Trichoderma属菌、Penicillium属菌、Talaromyces属菌、Acremonium属菌、Alternaria属菌、Verticillium属菌、Bacillus属細菌、Pseudomonas属細菌、Xanthomonas属細菌及びStreptomyces属細菌からなる群から選択される、請求項1～3のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項5】

前記非病原性菌がFusarium oxysporum、Fusarium moniliforme、Fusarium fujikuroi、

*Fusarium proliferatum*、及び*Fusarium sacchari*からなる群から選択される*Fusarium*属菌由来である、請求項1～3のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項6】

前記非病原性菌が受託番号NITE BP-01538又はNITE BP-01539である、請求項1～3のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項7】

種子伝染性病原菌に対応する非病原性菌を開花期前後の宿主植物の花部に接触させることによって得られる育苗期病害耐病性植物の種子。

【請求項8】

前記宿主植物がイネ科植物である、請求項7に記載の種子。

【請求項9】

前記非病原性菌が請求項4～6のいずれかに記載の非病原性菌である、請求項7又は8に記載の種子。

【請求項10】

請求項7又は8に記載の育苗期病害耐病性植物の種子を用いる育苗期病害の発病予防及び防除方法。

【請求項11】

前記植物がイネ科植物である、請求項10に記載の予防及び防除方法。

【請求項12】

前記育苗期病害が種子伝染性病害及び土壌伝染性病害である、請求項10又は11に記載の予防及び防除方法。

【請求項13】

種子伝染性病原菌に対応する非病原性菌を有効成分とする育苗期病害防除用微生物農薬。

【請求項14】

イネ科植物適用用である、請求項13に記載の微生物農薬。

【請求項15】

前記非病原性菌が請求項4～6のいずれかに記載の非病原性菌である、請求項13又は14に記載の微生物農薬。

【請求項16】

*Fusarium oxysporum* W3株（受託番号：NITE BP-01538）又は*Fusarium oxysporum* W5株（受託番号：NITE BP-01539）。